

石川の特性(詳細)

1. 地域関連

《強み》

【強み①】環日本海を中心に位置し、3大都市圏と適度な距離

- 環日本海諸国(中国・江蘇省、韓国・全羅北道、ロシア・イルクーツク州)との幅広い分野での友好交流、小松空港:地方空港で唯一国際貨物便が運航(国際航空貨物取扱量 全国5位)
- 3つの都市圏それぞれからの影響がある一方で、加賀百万石の時代から引き継がれた独自の文化圏及び北陸3県が強く結びつく経済圏を形成してきた

【強み②】良好な自然環境・豊かな観光資源

- 広大な原生林と豊富な高山植物に恵まれた白山国立公園、美しく長い海岸線を持つ能登半島国立公園・越前加賀海岸国立公園
- 新鮮な海山の幸・加賀料理などの食文化、加賀百万石の伝統芸能・伝統工芸・城下町の街並み、湯量豊富な7つの温泉
- 観光ランキング(都道府県):美味しい食べ物(2位)、魅力ある特産品・土産物(7位)、魅力的な宿泊施設(5位)

【強み③】伝統と創造に育まれた豊かな文化土壌

- 日展入選者数:全国第1位 日本伝統工芸展入選者数:全国第1位(いずれも人口100万人当たり)
- 登録伝統工芸士数:全国第2位(391人)
- 県立音楽堂をフランチャイズホールとするオーケストラ・アンサンブル金沢の国内外での活動

【強み④】高等教育機関の集積(大学11校、短大6校、高専2校 合計19校)

- 大学等の学校数:全国第2位、学生数:全国第5位(いずれも人口10万人当たり)
- 北陸先端科学技術大学院大学の設置
先端科学技術大学院大学として全国初(H2年)、全国では他に奈良県のみ(H18年現在)

【強み⑤】盛んな国際交流

- 外国人登録者数が10年で1.6倍、外国人宿泊者数はH14の2.2倍で11万人(H17)
- 人口当たり外国人留学生:全国第6位、人口当たりの国際交流団体:全国第4位、人口当たりのホームステイ・ボランティア数:全国第3位

【強み⑥】広域交通基盤が整いつつある

- 1県2空港の実現
- 北陸新幹線の金沢開業の決定
- 金沢港・七尾港の大水深岸壁による国際物流拠点の形成
- 県土ダブルラダー構想の推進による県土を貫く太い背骨の形成
- H19年度の東海北陸自動車道全線開通

《課題》

【課題①】人口減少・超高齢化が全国より早いペースで進行

- 人口減:2015年は2005年比▲3.7%(全国▲1.2%)
- 老年人口割合:2015年で27.3%(全国26.0%)

【課題②】中心市街地の空洞化が進行

- 金沢市新野町校下 H12年:5,181人→H18年:4,585人(H12年比 88.5%)
- 金沢市商業集積地区(商店街)商業関係事業所数
H14年:2,227事業所→H16年:2,122事業所(H14年比 95.3%)
(参考)金沢市商業関係事業所全体 H14年:7,802事業所→H16年:7,699事業所(H14年比 98.7%)
- 金沢市中心市街地主要商店街 平日歩行者通行量 H9年:61,979人→H15年:46,644人(H9年比 75.3%)

【課題③】能登などの過疎化が一層進み、コミュニティのあり方等に問題が生じることが懸念される

- 2015年には、特に能登北部では人口が20%減、年少人口が37%減(いずれも2005年比)、65歳以上が44%を占めることになると推計されている

【課題④】公共交通機関の利用者の減少(H2年→H16年)

- 鉄道:5.1%→2.9%、乗合バス:9.0%→3.8%、自家用乗用車:77.9%→87.9%

【課題⑤】伝統産業の低迷・後継者不足

- 生産額は、H2年を100とすると、H7年:83、H12年:58、H17年:40
- 特定の産地、特定の作業工程で後継者が不足している

【課題⑥】県外・国外において、石川県のイメージが希薄

- 地域ブランド力:都道府県で20位、行ってみたい旅行先:都道府県で16位
- 特に、首都圏や国外において全体イメージが希薄

【課題⑦】南北に細長く大きな半島を抱えているため様々な問題が生じている

- 能登方面から金沢への移動に時間がかかる
- 海岸線が長いことにより海岸侵食対策箇所や、海岸漂着ゴミの量が多い
- 半島部は、水資源に乏しい

【課題⑧】平成の大合併により行政区域や生活圏域が広域化している

- 市町村数 41市町村→19市町(減少率は全国16位)

2. 産業関連

《強み》

【強み①】 層の厚いモノづくり基盤

- 建設機械、工作機械など国際展開を図る機械メーカーが集積
- これらを支える鋳造、鍛造、板金、溶接といった幅広い加工分野にわたる優れた人材を有する企業が集積
- 特定の分野でシェアトップであるニッチトップ企業が集積(40社/全国第3位)

【強み②】 情報サービス産業の集積

- 人口当たりの事業所数は全国第3位、従業者数は全国第4位、売上高は全国第5位

【強み③】 意欲的な企業が多数存在

- 研究開発、経営革新など経営体質の強化に取り組む企業が多数存在
 - 中小企業創造活動促進法 106社承認/人口10万人当たり全国第15位
 - 中小企業経営革新法 280社承認/人口10万人当たり全国第12位
- 人口当たり新設事業所数:全国第10位、労働人口当たり同:12位(いずれもH16年事業所統計調査)

【強み④】 多種多様な農産物・水産物

- 源助だいこん、金時草、能登大納言小豆、中島菜など特色のある地域特産物が多い
- 漁連金沢市場での取扱魚種は150種
- 食材の多様さに裏付けられた地域を特徴づける食文化が多数受け継がれている
- 年間2千万人を超える観光客があり、食を期待する人も多い

【強み⑤】 高い米の品質

- ここ5年間(H13~H17年)の平均1等米比率は、北陸4県中、石川県がトップ
 - 石川県 75.1% 福井県 73.1% 富山県 72.1% 新潟県 69.5%

【強み⑥】 県一漁協の誕生 (H18.9)

- 県一漁協達成県は山形県、大分県に次ぎ全国で3番目
- スケールメリットを活かした生産・流通体制の構築や、産地市場の統合、県産魚のブランド化、生産基盤施設の統廃合によるコストの削減などを検討

《課題》

【課題①】 全体として堅調に推移しているものの産業活力の鈍化を伺わせる状況も散見

- 産業の成長力はS60~H13年で全国第15位であるが、近時の3年間(H11~13年)で見ると、全国第30位
- 伝統産業の生産額は、H2年を100とすると、H7年:83、H12年:58、H17年:40

【課題②】 農林水産業の経営基盤の脆弱さ

- 主業農家率 H17年:10.1%(全国21.9%)
- 平均農業所得 H17年:641千円(全国1,235千円)
- 県産品は、生産量が少なく供給が不安定で全国的な知名度は低い

【課題③】 農林水産業の担い手の高齢化

- 従事者の多くが60歳以上(従事者の約8割)と今後10年間で大量のリタイアが予想される
- 能登地区で耕作放棄地が多い。耕作放棄地率 H17年:13.9%(全国5.7%)

【課題④】 手入れ不足の森林の増加

- 木材価格の低迷等を背景に、奥地等において採算性が見込めない森林が増加
 - スギ丸太 H8年:21,300円/m³→H17年:11,400円/m³
- 一方、県内の人工林の約6割が間伐適期を迎えているが、間伐が行われたのは約半分にとどまり、手入れ不足が進行
 - 間伐対象森林 59千ha 間伐未実施林 29千ha

【課題⑤】 漁獲量の減少傾向に歯止めがかからない

- 沿岸漁業は最盛期の漁獲量と比較し17万トンの減少
 - H2年:23万トン → H17年:6万トン

3. 暮らし関連

《強 み》

【強み①】 広域防災拠点の中核となる総合防災情報システムを備えた新県庁舎

【強み②】 整いつつある災害時の避難先・輸送ルート

- 避難施設指定県立学校等体育館の耐震化 H19年完了予定
- 緊急輸送道路の落橋対策 H19年完了予定

【強み③】 多様性に富んだ豊かな自然環境が保全されている

- これまでに約410種類の鳥類が確認され、都道府県別では全国一
- ほ乳類は本州に住むほとんどにあたる53種類を確認

【強み④】 働きながら子育てしやすい環境が整備されている

- 女性就業率 H17年:50.8%/全国第4位
- 保育所普及率 H17年:57.2%/全国第1位 保育所・幼稚園普及率 H17年:77.7%/全国第7位
- 放課後児童クラブ整備率 H17年:81.5%/全国第5位
- 一時保育や休日保育の実施率についても全国水準を大幅に上回っている

《課 題》

【課題①】 多発する異常気象と自然災害

- 平成16年(2004年)新潟県中越地震や平成16年7月福井豪雨、H17年の福岡県西方沖地震
- 全国有数の年間降水量2,398mm(H14~H16年平均:全国第5位)
- H18年豪雪による県内の人的被害 死者6名、負傷者24名
- H18年7月豪雨(7月15日~19日の降水量 金沢263mm、小松398mm、加賀山中465mm、白山白峰501mm)
- 平成19年(2007年)能登半島地震(マグニチュード6.9、震度6強)
死者1名を含む人的な被害に加え、家屋の全壊や半壊、道路被害、土砂崩れ等の甚大な被害が発

【課題②】 耐震性の低い木造住宅が建て込んでいる地域がある

- 住宅の耐震化率 H15年:約67%(全国平均約75%)

【課題③】 能登北部地域をはじめとするへき地における医師不足

- 能登北部での人口10万人当たり医師数 H16年:136人(全国比 68%)

【課題④】 医療機関の情報提供体制が不十分

- 現状:災害・救急医療情報システムにより提供できる情報が参加医療機関の診療科目及び休日在宅当番医に係る情報に限られている
- 県内の医療機能評価認定病院数 106病院中36病院
(医療機関が提供する医療サービス機能を、(財)日本医療機能評価機構が客観的に評価し、認定するもの)

【課題⑤】 施設に入所する高齢者が多い

- 高齢者人口1万人当たりの施設入所者数 H17年:418人/全国第3位(全国平均310人)

【課題⑥】 高齢者人口1人当たりの介護給付費が高い

- 高齢者人口1人当たりの介護給付費 H16年:22千円/全国第3位(全国平均19千円)

【課題⑦】 高齢化の進行とコミュニティの衰退による地域防災力の質の低下の懸念

【課題⑧】 合計特殊出生率は全国平均を上回っているものの徐々に低下している(H8年→H17年)

- 石川県 1.46→1.35 全国 1.43→1.26

【課題⑨】 運動習慣の割合が全国平均より低く肥満傾向があり、心疾患や脳血管疾患など循環器系疾患の受療率が全国平均より高い

- 疾患別の受療率(入院、外来別)
[H17年:入院] 心疾患/2位 脳血管疾患/12位 高血圧性疾患/15位
[H17年:外来] 心疾患/13位 脳血管疾患/26位 高血圧性疾患/32位

【課題⑩】 一般廃棄物の排出量は全国平均を上回り、リサイクル率は全国平均よりも低い

- 1人1日当たり排出量 H16年:1,110g(全国平均1,086g)
- リサイクル率 H16年:15.2%(全国平均17.6%)

【課題⑪】 国境を越えて環境に影響を与える物質による環境問題の増加が懸念される

- 主な海岸漂着ごみ
H17年:医療系廃棄物(8月)1,314個、木材(12月)153本、ポリ容器(1月)3,067個 など
- 黄砂 観測日数 H11年まで:年平均5日以内 H12~H14年:年平均10日以上
- 酸性雨(金沢) S58年:pH4.7 H6年:pH4.6 H17年:pH4.4

参考1 / 石川県の人口、経済規模の見通し

① 県人口の見通し

全国よりも早いペースで人口が減少することが予測されており、2015年には県の総人口は現状より3.7%の減少、生産年齢人口(15~64歳)は11%減ることになる。老年人口(65歳~)の占める割合は、2015年には6ポイント上昇、2030年には3人に1人の時代に近づくことと推計されている。

【将来の人口推移】

	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成27年 (2015)	平成42年 (2030)
全国 (H18推計)	126,926	127,768 H17比	125,430 ▲1.8%	115,224 ▲9.8%
全国 (H14推計)	126,926	127,768 H17比	126,266 ▲1.2%	117,580 ▲8.0%
石川県 (H14推計)	1,181	1,174 H17比	1,130 ▲3.7%	1,010 ▲14.0%

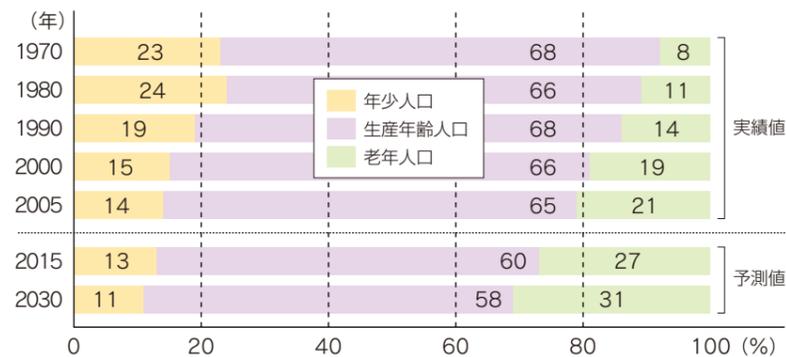
【生産年齢人口の推移】

	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成27年 (2015)	平成42年 (2030)
全国 (H18推計)	86,220	84,092	76,807	67,404
全国 (H14推計)		増減	▲2%	▲9%
石川県 (H14推計)	781	761	677	585
		増減	▲3%	▲11%

H12とH17は国勢調査、H27とH42は国立社会保障・人口問題研究所推計値

H12とH17は国勢調査、H27とH42は国立社会保障・人口問題研究所推計値

【本県の年齢3区分別人口構成の推移と見通し】

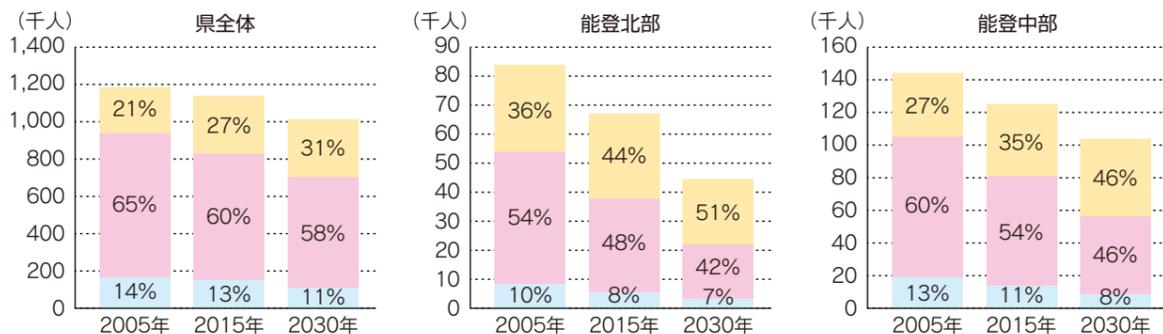


② 地域別の人口の見通し

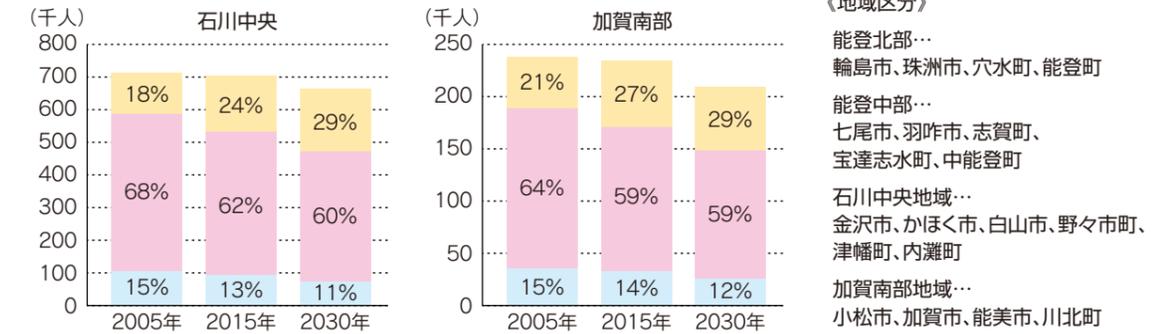
能登地域の減少が目立つ。2015年には県全体で3.7%減なのに対して、能登は16%減(北部20%・中部14%)と予想されている。

また、能登北部では、この10年で年少人口が4割程度減少すると予測されている。

65歳以上 15~64歳 0~14歳



65歳以上 15~64歳 0~14歳



《地域区分》

- 能登北部… 輪島市、珠洲市、穴水町、能登町
- 能登中部… 七尾市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町
- 石川中央地域… 金沢市、かほく市、白山市、野々市町、津幡町、内灘町
- 加賀南部地域… 小松市、加賀市、能美市、川北町

③ 経済規模(域内総生産)の見通し

2015年(H27)の石川県の経済規模(域内総生産)は、「過去の生産性」・「新たな取り組みを考慮しない」ということを前提とした場合、人口減少の影響等で、▲0.9%となることが予測される。

【県全体の経済規模(総生産)】 (億円)

	2003年度	2015年度	増減率
県内総生産	44,599	44,210	▲0.9%
第1次産業	476	319	▲33.1%
第2次産業	12,590	11,899	▲5.5%
第3次産業	33,272	33,716	1.3%

【地域別の経済規模(総生産)】 (億円)

	石川県	金沢	七尾	小松	輪島	加賀
2003年度	44,599	31,190	3,417	5,752	2,065	2,175
2015年度	44,210	31,764	2,903	5,972	1,613	2,000
増減率	▲0.9%	1.8%	▲15.0%	3.8%	▲21.9%	▲8.0%
参考:人口増減率(2015/2003)	▲4.2%	▲0.9%	▲16.0%	0.5%	▲22.1%	▲9.0%

《経済圏》

- 金沢…金沢市、羽咋市、かほく市、白山市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町、宝達志水町
- 七尾…七尾市、志賀町、中能登町
- 小松…小松市、能美市
- 輪島…輪島市、珠洲市、穴水町、能登町
- 加賀…加賀市

【試算の前提】

- 経済産業省が発表した「2030年時点の経済規模予測」の推計方法を利用し、北陸経済研究所が試算
 - ・人口推計…国立社会保障・人口問題研究所試算(中位推計)
 - ・過去の労働生産性(98-03年度の年平均…1,2次産業)
 - ・人口当たり生産額(98-03年度の年平均…建設、3次産業)
 - ・産業別の労働者構成比は不変等の前提を用いて推計
- 今後の活性化に向けた取り組みや地域経済の変化(例えば新幹線開業による交流人口の拡大)等は考慮されていない。

参考2/その他のデータ

1) 地域関連

	H7	H12	(増減)	H17	(増減)	備考
県内観光入り込み客数	22,686	21,496	(▲5.2%)	20,397	(▲5.1%)	単位：千人
観光消費額	320,669	282,919	(▲11.8%)	258,410	(▲8.7%)	単位：百万円
コンベンション開催件数	202	214	(+5.9%)	326	(+52.3%)	単位：件
小松空港の年間利用者数 (国内線・国際線)	2,300	2,586	(+12.4%)	2,465	(▲4.7%)	国際線にはチャーター利用者 含む 単位：千人
小松空港の年間貨物取扱量 (輸入・輸出)	12,272	18,437	(+50.2%)	22,659	(+22.9%)	単位：トン
能登空港の年間利用者数 (定期便・チャーター便)	—	—	(—)	167,595	(▲0.4%)	H15.7.7開港 H16:168,225千人、H17欄の 増減は、H16値に対するもの 単位：人
道路改良率	67.6	70.1	(+2.5%)	72.5	(+2.4%)	単位：%
自動車保有台数	732	814	(+11.2%)	861	(+5.8%)	単位：千台
兼六園周辺文化施設 年間入館者数の推移(7施設※1)	696,450	615,074	(▲11.7%)	428,928	(▲30.3%)	単位：人 ※1美術館、歴史博物館、能楽堂、藩 老本多蔵品館、石川近代文学館、 伝統産業工芸館、兼六園広坂休 憩館の7施設
海外留学生数(受入)	390	575	(+47.4%)	1,258	(+118.8%)	単位：人
海外研修生数(受入)	283	327	(+15.5%)	871	(+166.4%)	単位：人
外国人登録者数	6,085	8,186	(+34.5%)	9,965	(+21.7%)	単位：人
県民一人あたりの都市公園面積	9.9	10.9	(+10.1%)	12.3	(+12.8%)	単位：㎡
県内の旅客輸送に占める公共交通 機関(鉄道、バス、タクシーの計)の割合	※2 14.2	12.8	(▲1.4%)	※3 8.7	(▲4.1%)	※2はH9の値、※3はH16の値 単位：%
携帯電話の契約数(累計)	85,867	621,111	(+623.3%)	828,790	(+33.4%)	単位：契約数

2) 産業関連

	H7	H12	(増減)	H17	(増減)	備考
県民一人当たり県民所得	2,897	2,958	(+2.1%)	※1 2,853	(▲3.5%)	※1はH15の値 単位：千円
産業別県内総生産第1次産業	63,839	48,345	(▲24.3%)	※2 47,621	(▲1.5%)	※2はH15の値 単位：百万円
産業別県内総生産第2次産業	1,503,770	1,447,059	(▲3.8%)	※3 1,258,961	(▲13.0%)	※3はH15の値 単位：百万円
産業別県内総生産第3次産業	3,123,503	3,322,185	(+6.4%)	※4 3,327,160	(+0.1%)	※4はH15の値 単位：百万円
金沢港のコンテナ年間取扱貨物量	112	264	(+135.7%)	475	(+79.9%)	単位：千トン
基幹的農業従事者数のうち 60歳以上の割合	71.3	78.5	(+7.2%)	84.0	(+5.5%)	単位：%
耕作放棄地率	5.4	7.5	(+2.1%)	8.7	(+1.2%)	単位：%
米(コシヒカリ)の価格	20,838	16,411	(▲21.2%)	15,835	(▲3.5%)	米価格センターでの指標価格 単位：円/60kg
スギ山元立木価格	12,800	8,964	(▲30.0%)	3,650	(▲59.3%)	単位：円/m ³
海面漁業・養殖業生産量	115,204	110,904	(▲3.7%)	60,305	(▲45.6%)	単位：t 属人調査

3) 暮らし関連

	H7	H12	(増減)	H17	(増減)	備考
河川整備率	39.5	41.6	(+2.1%)	43.2	(+1.6%)	単位：%
交通人身事故発生件数	7,210	9,645	(+33.8%)	8,608	(▲10.8%)	単位：件
交通事故死者数	113	98	(▲13.3%)	75	(▲23.5%)	単位：人
刑法犯認知件数	10,201	12,804	(+25.5%)	12,739	(▲0.5%)	単位：件 ※H15をピークにH16から 3年連続で減少
消費生活年間相談件数	3,386	5,868	(+73.3%)	10,996	(+87.4%)	単位：件
合計特殊出生率	1.46	1.45	(▲0.01)	1.35	(▲0.1)	
初婚年齢の推移(男性)	28.0	28.2	(+0.2歳)	※1 29.4	(+1.2歳)	単位：歳 ※1はH16の値
〃 (女性)	25.8	26.7	(+0.9歳)	※1 27.7	(+1.0歳)	
要介護認定率	—	11.0	—	16.9	(+5.9%)	H12年介護保険制度開始 単位：%
受療率(入院)	※2 1,530	※3 1,542	(+0.8%)	1,522	(▲1.3%)	単位：人 人口10万人対 H12年介護保険制度開始 ※2はH5の値 ※3はH11の値
〃 (外来)	※2 5,641	※3 5,861	(+3.9%)	5,607	(▲4.3%)	
「男は仕事、女は家庭」という考え 方に対して賛成とする人の割合	37.5	36.1	(▲1.4%)	30.9	(▲5.2%)	単位：%
小学校児童数	79,107	69,733	(▲11.8%)	68,235	(▲2.1%)	単位：人
中学校生徒数	43,504	38,435	(▲11.7%)	33,979	(▲11.6%)	単位：人
高等学校生徒数	47,632	40,860	(▲14.2%)	35,769	(▲12.5%)	単位：人
特別支援学校児童・生徒数	981	805	(▲17.9%)	847	(5.2%)	単位：人
中学校部活動加入率	78.1	76.7	(▲1.4%)	76.8	(+0.1%)	単位：%
高校運動部活動加入率	46.5	44.1	(▲2.4%)	52.2	(+8.1%)	単位：%
県民大学校年間講座数	331	498	(+50.5%)	815	(+63.7%)	単位：講座数
県民大学校年間入校者数	2,814	4,567	(+62.3%)	7,695	(+68.5%)	単位：人
生涯学習関連HPへの 年間アクセス件数	—	60,080	—	164,940	(+174.5%)	生涯学習センター、県立図書館 単位：件